

『福島第一原子力発電所第1～4号機に対する「中期的安全確保の考え方」に基づく施設運営計画に係る報告書』の補正内容について

本日、「福島第一原子力発電所第1～4号機に対する「中期的安全確保の考え方」に基づく施設運営計画に係る報告書」のうち、以下の内容について、原子力規制委員会へ提出しました。

(変更概要)

多核種除去設備ホット試験の実施に向けた安全性評価
【その3(5章)】

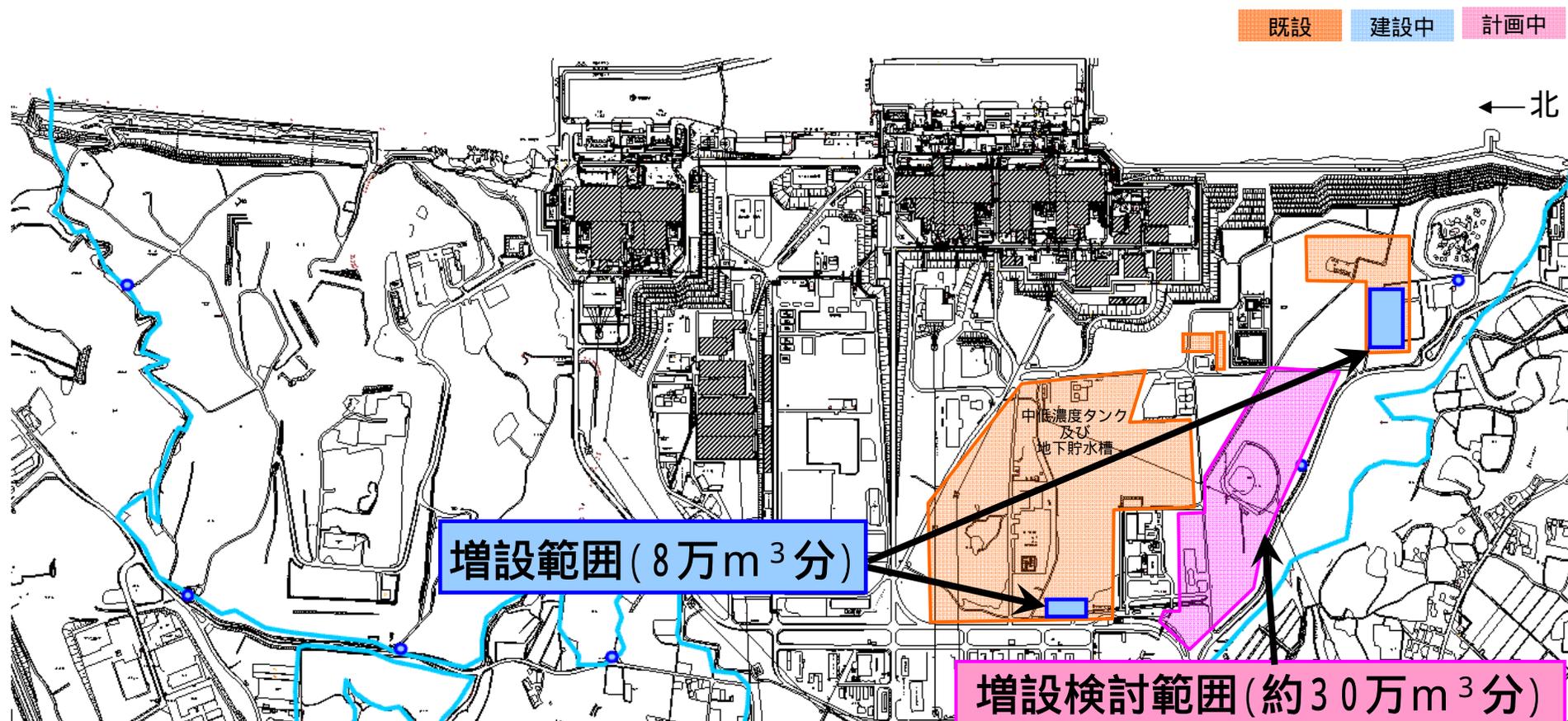
中低濃度タンク、使用済セシウム吸着塔一時保管施設(第三施設、
第四施設)の増設
【その1(5章)】

多核種除去設備におけるホット試験の実施に向けた安全性評価の概要

多核種除去設備ホット試験の実施に向けた安全性評価については、原子力規制庁の評価案に基づき、以下項目について補正を行いました。

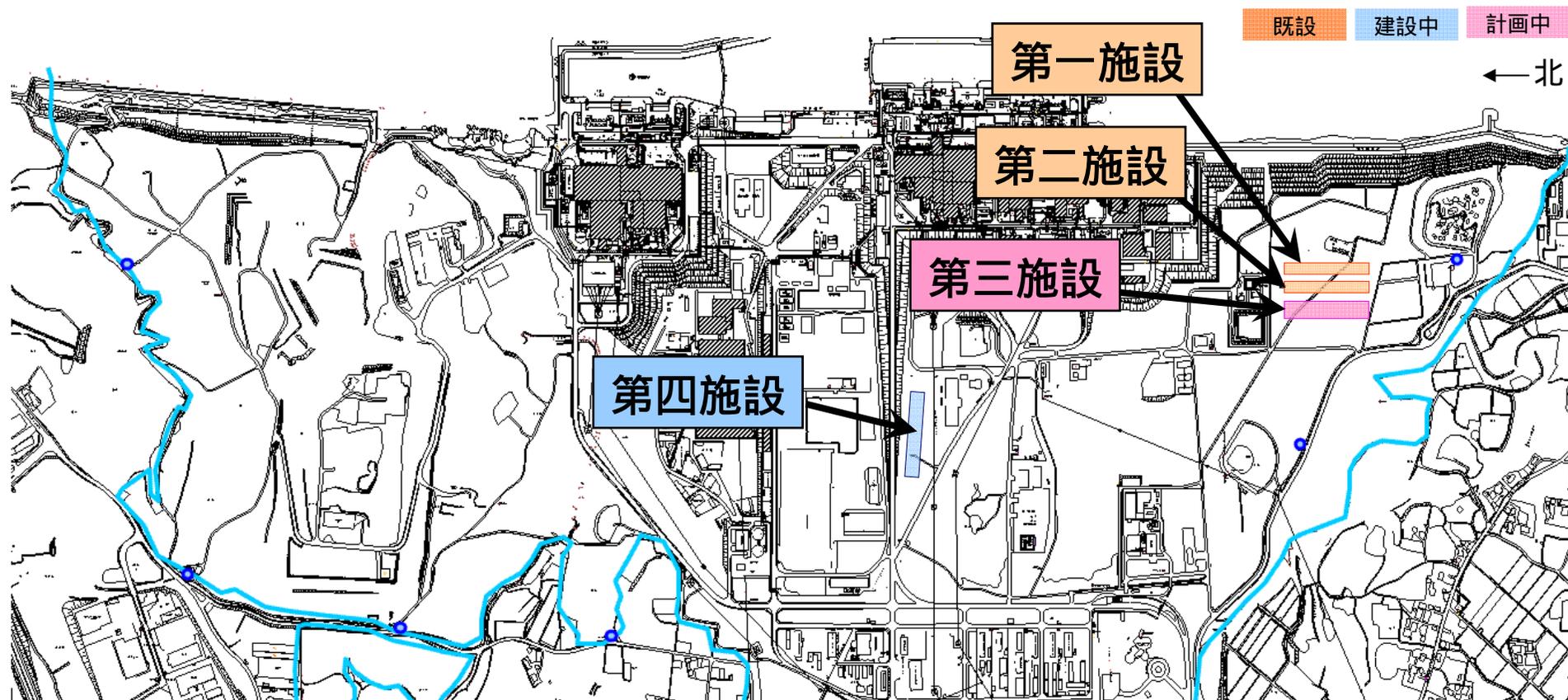
- 多核種除去設備のリスク評価
- 高性能容器（以下、HIC）の取り扱いにおける安全性確保のための対策
 - 落下時の漏えい発生防止対策（HIC落下時健全性評価）
 - 漏えいが発生した場合への対策（漏えい物回収手順の検討と被ばく線量評価）
- HIC貯蔵時における長期健全性評価
 - 照射劣化の影響評価

-【1】 処理済水を貯留する中低濃度タンクの増設計画について



- 処理済水を貯留するタンクを設置
- 中低濃度タンクとして、8万m³の増設工事を実施中であり、今後約30万m³の増設を検討している
- 「福島第一原子力発電所における信頼性向上対策に係る実施計画に係る更なる対応（2．貯留タンクの増設計画）に関する報告（補正）」（H24.9.7）を反映したものの

-【2】 一時保管施設（第三、第四施設）の建設について



- 多核種除去設備の高性能容器(HIC)の格納容量を確保するため、第三施設を建設予定。
- セシウム吸着装置（キュリオン）、第二セシウム吸着装置（サリー）の吸着塔（現在、第一施設にて保管）を敷地境界寄りから移転させるため、第四施設を建設中。

現在、第一施設では、キュリオン及びサリーの使用済みベッセルを保管中。第二施設については、今後、キュリオンの使用済みベッセルと多核種除去設備のHICを保管予定。